なつやすみ★おススメ本

夏によむよむ 2021

長い夏休み！　何にチャレンジする？
図書館で本を借りて、読書もおすすめ！
本の世界で「自分時間」を過ごしてみない？

ティーンズ版
（中学生向け）

東近江市立図書館

八日市	(0748-24-1515)
永源寺	(0748-27-8050)
五個荘	(0748-48-2030)
愛　東	(0749-46-2266)
湖　東	(0749-45-2300)
能登川	(0748-42-7007)
蒲　生	(0748-55-5701)

『月の光を飲んだ少女』

ケリー・バーンヒル/作（評論社）

毎年、魔女にいけにえとして赤ん坊を捧げなければならない町があった。だが、人々はそう信じ込まされていただけで、実は魔女ザンが助けていたのだ。ある年、ザンは助けた赤ん坊に月の光を飲ませてしまう。魔法の力を持つようになった子を、自分で育てることにするが……。

『スべらない同盟』

にかいどう青/作（講談社）

中学２年生のレオは、勉強も運動もできて、歌もうまいクラスの人気者。ある日、担任の先生に頼まれて、いじめられている転校生・藍上の面倒をみることになってしまった。クラスに藍上の居場所をつくるレオの作戦は、最初はうまくいっていたけれど……。

『夜フクロウとドッグフィッシュ』

ホリー・ゴールドバーグ・スローン
＆ メグ・ウォリッツァー/作（小学館）

ニューヨークに住んでいるエイヴリーに、5000ｋｍも離れたロサンゼルスの知らない女の子からメールが届いた。二人のパパがなんと付き合っていて、夏休みのキャンプで娘たちを仲良くさせようとしているらしい！　そんなことさせない、と二人は決意するのだが。

『保健室経由、かねやま本館。』

松素めぐり/作（講談社）

「サーマって、しんどい。」と、仲良しグループから外されてしまった佐藤まえみ。教室に入るのが辛い彼女の前に、不気味な白衣のオバさん銀山先生と「第二保健室」が現れました。そこは心の休息が必要な中学生専用の湯治場「かねやま本館」への入り口だったのです！

★「かねやま本館」
シリーズ３巻まであり

『ぼくは挑戦人』

ちゃんへん.　/作（ホーム社）

中学２年生の時にジャグリングと出合い、世界を舞台にプロパフォーマーとして活躍するちゃんへん. さん。在日韓国・朝鮮人のルーツを持つ彼は、パワフルな家族に支えられ、いじめや差別を跳ねのけます。自分の目で社会を見ることの大切さを教えてくれる本です。

夏によむよむ 2021
中学生版

『本当の貧困の話をしよう』

石井光太(いしいこうた)/作（文藝春秋）

「日本では、７人に１人の子どもが貧困家庭で育っている」と言われている。貧困とはどんな状態のことで、そこではどんなことが起こっているのか。どうすれば変えることができるのか。世界の貧困の現実を発信し続けている著者が、未来を変えるためにできることを熱く語る。

『ハジメテヒラク』

こまつあやこ/作（講談社）

小学生のときに仲間外れにされてから、まわりを観察しながら「脳内実況」するのが趣味になったあみ。中学生になって入った、変わった部員しかいない生け花部でやっていけるか不安。けれど、「実況」と生け花が、部員たちの意外な一面を教えてくれた。

『日向丘(ひなたがおか)中学校カウンセラー室』

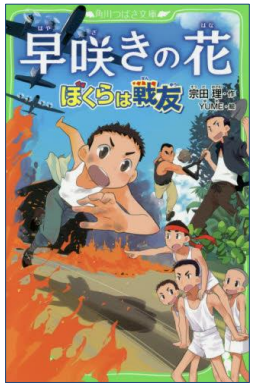
まはら三桃(みと)/作（アリス館）

日向丘中学校には親しみを込めて「さんづけ」で呼ばれる３人、カウンセラーの「綾さん」、用務員の「清二さん」、ゴースト（!?）の「ゴウスケさん」（見えないけれど）がいます。どんな相談にも乗ってくれる綾さんは、ゴウスケさんのことも知っているらしく……。

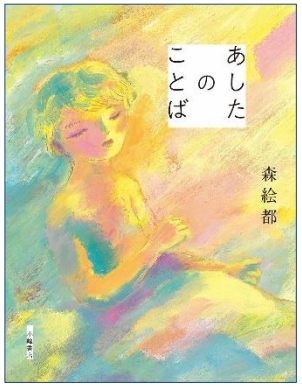
『早咲きの花　ぼくらは戦友』

宗田 理(そうだおさむ)/作（KADOKAWA）

母とふたり、東京から愛知県にあるおじいさんの家に引っ越してきた真次(しんじ)。親友もでき、いい先生にも出会えたけれど、世の中は戦争中。やがて先生は戦地へ行き、中学生も兵器をつくるために工場で働かなければならなくなった。



『あしたのことば』



森絵都(もりえと)/作（小峰書店）

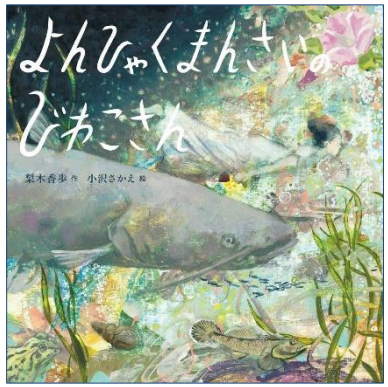
親が離婚して、父のふるさとへ引っ越してきた６年生の裕(ゆう)。転校先のクラスはとても平和だし、自分でも感じよくふるまえていると思う毎日だったけれど、それにもだんだん疲れてきて……。

何でもない日常の１コマが、明日への希望に満ちていく様子を描(えが)いた８つの物語。

『よんひゃくまんさいのびわこさん』

梨木香歩(なしきかほ)/作　小沢さかえ(おざわ)/絵（理論社）

びわこさんが生まれたのは 400 万年前。

「うみへかえりたい」という想いをかかえて、みんなで海をめざす……。

＊琵琶湖の誕生が神話のように語られる美しい絵本。描かれている琵琶湖の生き物も見つけてみてください。